

P

Policy Direction

平成29年度施政方針

三島の持続的発展を見据えた

やむを得ざる基盤づくりを推進する予算

市議会2月定例会で、豊岡市長が述べた平成29年度予算案の基本方針などの概要を掲載します。

平成27年度に策定した「住むなら三島・総合戦略」まち・ひと・しごと創生」の取り組みを加速し、以下で説明する3つの最優先施策を推進していきます。それにより、雇用拡大と交流人口の増加、少子・高齢化への対応、安定的な財源確保を図ってまいります。

平成29年度予算は、三島市の発展につながる将来への投資を行い、幅広い世代の方々や企業から選ばれる完成度の高いまちづくりのために、慣習に捉われることなく、変化を恐れずさまざまな事業を大胆にもきめ細かく盛り込みました。

この予算を「三島の持続的発展を見据えたさらなる基盤づくりを推進する予算」と位置づけ、積極的な取組を進めてまいります。

3つの最優先施策

① 企業誘致の推進

三ツ谷工業団地をはじめ企業誘致を推進し、市内で若い世代が安心して働くことのできる雇用環境の整備を図り、生産年齢人口の増加を図ります。

② にぎわいと雇用の創出

今後、一層の発展が期待される観光産業の振興を図り、交流人口の増加によるにぎわいづくりとともに、新たな雇用の創出につなげます。

③ 三島駅南口の開発

西街区は「広域観光交流拠点」の核となり、都市の品格を高めるホテルの開業を支援し、東街区は、「広域健康医療拠点」の実現に向け、地権者の皆様の協力のもと、運動とスポーツによる健康づくりににぎわいの拠点づくりを目指します。

歳入と歳出

歳入面は、市街地の地価の下げ止まり傾向もあり、市税で若干の増額が見込まれますが、国から交付される交付税の減額など、歳出の増加に歳入が追いつかない厳しい状況が続いています。

歳出では、子育て支援の充実や高齢者・障がい者福祉費用などの大幅な増加、都市基盤整備などの投資的経費、市民ニーズに対応した行政サービスの提供のための経費など財政需要が年々増大しています。

財政状況を示す各種指標では健全性が保たれていますが、今後老朽化が進む公共施設の更新・改修経費、さらに増加する社会保障関連経費など、多額の財政需要が見込まれることから、身の丈に合った財政運営に努め、持続的な発展に向けた施策を実行していきます。

※昨年の花のまちパレードの様子
東京ディズニーシー 15周年スペシャルパレード
“ザ・イヤー・オブ・ウィッシュ”

「ガーデンシティで育むシビックプライドと人が行き交い元気あふれる産業・経済の創造」

42億3,995万3,000円

ガーデンシティみしまの推進

ガーデニングを通じたコミュニティの復活、新たな観光資源、子どもの情操教育まで波及させ、さらに多くの人に三島を訪れてもらい、観光産業の発展や雇用創出につなげることを目指します。

【ガーデンシティみしまの推進に関連する主な事業】

①地域環境づくり推進事業…161万円

種子の配布やコンテストの開催をとおして緑のカーテンを普及・啓発し、地域のごみ拾いや花壇作業などのボランティア活動を支援。



①地域環境づくり推進事業



②みしま花のまちフェア補助金



③ガーデンシティみしま推進会補助金



④ガーデンシティみしま花飾り事業

住みやすさとまちの魅力の向上

①公営住宅整備事業…3億3,312万円

老朽化した市営住宅の改修工事を実施。南二日町住宅A棟改修工事の完了後、B棟改修工事に着手。

②「内陸のフロンティア」を拓く取組…3億3,246万円

県が進める「内陸フロンティア推進区域」に7事業の指定を受け、工業団地の整備や宅地造成など安全安心で魅力ある地域づくりを推進。

③鳥獣被害対策事業…170万円

鳥獣による農作物被害に対する体制整備、人材育成のため、新たに鳥獣被害対策実施隊を設置。

④サテライトオフィス進出事業費補助金…440万円

企業誘致のため、市内に新たにオフィスなどを開設するIT企業などに対し、経費の一部を支援。

⑤三島駅南口自転車等駐車場改修事業…5,000万円

三島駅南口西街区の駐輪スペース確保のための整備。

⑥地理的表示普及啓発事業費補助金…100万円

平成28年度に国の地理的表示の登録を受けた三島馬鈴薯のさらなるブランド化を支援。

⑦地域ブランド推進協議会負担金…900万円

三島市産の農産物のブランド化や農商工連携、産業を活性化させるために必要な経費を支援。

⑧M-ステ産業競争力強化事業費補助金…400万円

市内の事業者に対し経営に関する相談業務や専門家派遣などに要する経費の一部を支援。

⑨三島市スポーツ・文化コミッション負担金…700万円

スポーツ・文化分野のイベントや合宿の誘致など。